

平坦地におけるトルコギキョウの周年栽培技術

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

担当者：渡辺 功

研究のねらい

トルコギキョウは、ここ数年急速に生産と消費が伸び、キク、バラ、カーネーションに次ぐ切り花となり、今後も消費の拡大が続くと考えられている。そこで、西南暖地の特性を生かし、現在の主流である季咲き栽培よりも有利な販売が期待される周年栽培技術の確立に取り組んだ。

研究の成果

1 育苗

ミスト育苗の用土としては、H社製メトロミックス 360、プラグミックス及び農協取扱いの与作 V1号等が適している。緩効性肥料（マイクロロングトータル70）の添加量は、用土1リットル当たり4.2g（窒素成分で500mgに相当）が良い。ただし、良く混合しないと生育ムラが生じる。作型によって適する育苗容器、育苗期間、苗の大きさ等がそれぞれ異なるので注意が必要である（表1）。

2 品種

作型ごとに、適正な早晩性の品種を選ぶ必要がある（表1）。10月～11月採花では、長日高夜温条件下での定植になるため、ボリュームの確保が比較的容易な品種を選ぶ。

3 温度管理

どの作型も10月中旬以降は夜温が低くなるので140℃程度に加温する。作型によって昼温の管理が異なるので注意する（表1）。

4 灌水管理

トルコギキョウは、ミスト灌水や底面吸水で育苗するため、定植前に圃場を十分に湿らせることと、定植後はしばらくの間、多灌水に管理することが重要である。

普及上の留意点

熊本、宇城、玉名、八代、芦北、天草の海岸地域は、8月の最低気温が高く、8月定植10月～11月採花の作型は適しないので、9月以降定植の作型が望ましい。

10月～4月採花の作型には、ロゼット回避のため夜冷育苗か冷房育苗が必要である。

表 1 各作型の育苗定植と栽培中の換気の留意点

作型	早晩性と 適応作型	育苗容器	育苗 期間	定植時の苗 の大きさ		定植適期	栽培中の換気
				節数	最大葉節		
10月～ 11月採花	晩生品種	288穴 セル成型 トレイ	8週 から 9週	3	2.5	7月下旬 から 8月上旬	定植から採花まで昼間の換 気を十分に行う
11月採花	早生品種 か 中生品種	288穴 セル成型 トレイ	8週	2.5 ～ 3.0	2.0	8月中旬	定植から採花まで昼間の換 気を十分に行う
12月採花	極早生品種 か 早生品種	288穴 セル成型 トレイ	8週	2.5 ～ 3.0	2.0	8月28日 から 9月5日	定植直後から昼間のハウス 内の温度を30℃に
2月から 4月採花	極早生品種 か 早生品種	684穴 ペーパー ポット (288穴セル成型 トレイでも可)	6週 から 7週	2.0	1.0	10月上旬	定植直後から昼温30℃に し、側枝伸長期から採花ま で換気を十分に行い首曲が りを防止する

表 2 12月採花において育苗期間と育苗中の施肥量が切り花品質に及ぼす影響

育苗期間	育苗用 土への 施肥量 (g/l)	定植時の苗の大きさ		ロゼット率と切り花品質				
		節数	最大葉節	ロゼット率 (%)	平均 採花日	草丈 (cm)	切り花 重(g)	輪数
9週	8.4	3.5	3.0	4.4	12/20	69.1	64.5	6.6
	4.2	3.2	2.5	3.3	12/18	70.2	64.3	7.0
8週	8.4	2.7	2.0	6.7	12/25	74.1	74.1	6.7
	4.2	2.9	2.0	3.3	12/25	75.8	72.3	7.2
7週	8.4	-	-	13.9	1/10	79.3	90.3	8.7
	4.2	2.0	1.9	7.8	1/5	81.9	71.5	7.3

注) 供試品種は、「あずまの桜」。9月4日定植。

育苗は16時から翌日8時までを14℃に設定した短日夜冷育苗装置で行った。

表 3 4月採花において育苗期間と育苗中の施肥量が切り花品質に及ぼす影響

育苗期間	育苗用 土への 施肥量 (g/l)	定植時の苗の大きさ		ロゼット率、先枯れ率と切り花品質				
		節数	最大葉節	ロゼット率 (%)	先枯れ (%)	平均 採花日	草丈 (cm)	輪数
9週	8.4g	2.8	2.1	17.9	0	4/19	106.0	9.3
	4.2g	2.5	2.0	26.2	6.7	4/16	108.1	9.6
8週	8.4g	2.3	2.0	15.5	13.3	4/15	119.9	10.6
	4.2g	2.1	2.0	17.9	66.7	5/7	111.5	10.6
6週	8.4g	2.0	1.0	1.2	6.7	4/10	124.4	8.9
	4.2g	2.0	1.0	2.4	3.3	4/21	117.2	8.9
	4.2g	2.0	1.0	0	0	4/15	120.5	12.1

注) 先枯れは、生長点が潰れたもの。供試品種は、「あずまの粧」。10月12日定植。

育苗は16時から翌日8時までを14℃に設定した短日夜冷育苗装置で行った。

は、育苗容器にペーパーポットを用いた。